

# 第 35 回吉川市近隣少年野球大会実施要領

1. 主催 吉川市近隣少年野球大会実行委員会
2. 主管 吉川市少年野球連盟
3. 後援 (社)全日本不動産協会埼玉県本部, 東武よみうり新聞社  
(株)共同写真企画, ナガセケンコー(株), (株)BA-SEN
4. 期日・会場 3月20日(祝), 21日(日), 28日(日), 予備日4月3日(土)  
大会会場 旭公園球場ほか
5. 使用球 全日本軟式野球連盟公認球(ケンコーボールJ号球)
6. 参加費 8,000円(大会当日徴収)
7. 表彰 (1)団体 ・優勝 ・準優勝 ・第3位(2チーム)  
(2)個人 ・最優秀選手賞(1名) ・優秀選手賞(8名)
8. 開会式 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開会式は実施しません。  
各チーム車は5台以内で試合開始1時間前までに試合会場へお越し下さい。
9. 態度決定 雨天の場合は、午前6時に態度決定をする。問合せ先は下記まで  
樋高 敏之 090-4381-0521  
岡崎 真二 090-1143-4365

## 10. 特別規則大会注意事項

- (1) この大会の競技規則は、当該年度「公認野球規則」及び「全日本軟式野球連盟競技者必携・学童野球に関する事項」及び細則により試合を行う。大会特別規定を設け、その規程を優先する。
- (2) 試合は7回又は1時間30分とし、それ以降は新しいイニングに入らない。ただし、勝敗が決しない場合はタイブレークを、無死1・2塁、継続打順で勝敗を決する。タイブレークが2回でも決着がつかない場合は出場選手9名のくじ引きで勝敗を決する。
- (3) シートノックは5分間とする。但し、時間の都合等により省略することもある。
- (4) ベンチには登録選手15名、代表、監督、コーチ、スコアラー、父母の手伝いは2名までとする。
- (5) 試合前のメンバー表提出は各会場3枚とする。提出は試合開始30分前、又は4回終了時とする。
- (6) 全試合はコールドゲームを採用する。雨天によるコールドゲームは5回(4回1/2)とする。得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回7点差を採用する。
- (7) 投球制限について、今大会から1日70球の投球制限を設ける。試合中70球に達した場合、その打者が完了するまで投球できる。タイブレークに入っても70球までとする。試合中の投手は、他の守備につくことは出来、70球以内であれば投手として戻れる。又、1日2試合を行う場合は2試合の合計で70球とする。投球数は大会本部で管理するが、勝者チームに本部で用意した投球数管理表を提出してもらう。
- (8) 指名打者を採用することができる。
- (9) 大会での審判について  
4回戦までは基本的に帯同審判が塁審を行う。準決勝、決勝は本部で行う。
  - ・ 3試合の会場は1試合目と2試合目は相互に行う。3試合目は2試合目の敗退チームと本部審判部から2名ずつで行う。
  - ・ 4試合の会場は1試合目と2試合目、3試合目と4試合目が相互に行う。

(10) 新型コロナウイルス感染防止のため発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない者の参加を認めない。

また、14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。

選手、チーム関係者、役員、審判員は会場まではマスク着用とするが、試合中については選手、審判員の判断とする。また、熱中症予防にも十分に配慮すること。

手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットを励行すること。

参加者は密集・密接にならないよう一定の距離を保つよう心掛けること。

会場内外において唾、痰を吐く行為を厳禁とする。

ゴミは各自が必ず持ち帰ること。

上記以外に感染防止の観点から必要と思われる事項については各チームで実施すること。

以上